

## 令和7年度 北海道小学校長会地区活性化支援事業【実践事例レポート】

- 1 報告地区：旭川地区
- 2 事例報告学校名：旭川市立旭川第五小学校
- 3 報告者職・氏名：校長 中村 公暢
- 4 キーワード：特色ある学校経営～特認校・保小中連携・地域の教育資源の活用

### 1 はじめに

本校は、旭川市東旭川町桜岡地区のほぼ中央部に位置し、旭山公園（動物園）前から3.5km、JR桜岡駅から2.5kmの位置の小中併置校である。明治38年に東旭川第七簡易教育所として開校した後、旭川第四尋常小学校の分教場を経て、大正7年に旭川第五尋常小学校として分離独立している。



校下は、旭川市北東部の丘陵及び河川沿いに広がる農村地帯で、当麻町に隣接している。丘陵傾斜地を利用した水稲栽培農家が多く、水源確保用に多くの溜池が散在している。自然環境に恵まれており、地名どおり、校舎周辺には多くの桜の木がある。開花の時期には校地の周りが桜色に染まっている。

### 2 特認校に対する地域の想い

開校100周年記念誌に「特認校への道」をテーマに当時のPTA会長の寄稿文が掲載されている。タイトルは「地域の学校をなくすな」。昭和63年に現校舎が新築されたが、少子化の影響と地元の子どもも越境で他校に進学するなど、児童生徒数の確保に苦慮していた。そこで、「この学校で学びたい子を受け入れること」を考え、特認校の手続きに奔走したと回想している。

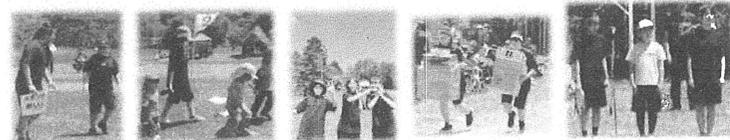
そうした地域の支えがあり、平成2年に「通学区域外就学の特例校」として旭川市の指定を受け、通学区域外からの通学が認められ、旭川市唯一の小中併置の特認校となった。現在では特認児童生徒が全体の約7割を占めている。

### 3 特色ある学校経営

#### (1) 保小中連携

小中併置のよさを生かし、「9年間を見通したカリキュラム・マネジメント」「小・中合同の校務分掌組織」「中学校教員による小学校への乗り入れ授業」などに取り組んでいる。小学校と中学校の学校文化の違いで学校経営の一体感に課題が生じることがあり、「学校文化アップデートプラン」を立ち上げ、教職員の主体的な取組による改革を推進した。

児童会活動については、中学生の生徒会活動と合同の活動に移行し、「児生会」として小学4年生以上で活動している。小・中の絆を深めるために「小・中合同レク」など様々な取組をしている。



また、隣の敷地には桜岡保育所があり、運動会・学校祭については保・小・中の合同開催となっている。保育所のクリスマス会や節分イベントに

も本校より教職員を派遣するなど、日常的につながりをもつことを意識している。

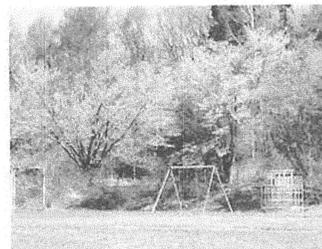
#### (2) 稲作活動

地元の基幹産業である農業体験を通して食に対する学習を深めることが目的である。旭川市役所農政課と桜岡地区環境保全グループの方々の協力、水田や機器の提供など多くの方々の協力を得て取り組んでいる伝統行事である。田植え・稲刈りを手作業で行い、12月には収穫祭として、自分たちで育てた米を食べている。各活動は小・中合同の縦割り班で行われ、中学生がリーダーシップを発揮している。



#### (3) 石山学校園の桜

グラウンドと隣接する石山は桜をはじめ様々な樹木があり、石山学校園として整備されており、学習の場や憩いの場として親しまれてきた歴史がある。過去には石山で「お花見給食」として、桜の木の下で給食を食べるイベントを実施していた。保護者から復活の要望が挙がっていたため、お弁当を持参するイベント「お花見ランチ」として令和7年度より再スタートした。



#### 【桜プロジェクト】

平成20年に有人宇宙システム(JAMSS)が桜の種を集め、若田飛行士と国際宇宙ステーションで半年滞在し、帰還させるプロジェクトに、クラーク・ホースガーデンの紹介で校庭の「深山桜」と、石山の「蝦夷山桜」の種を託した。平成21年に種子が戻り全校児童生徒の手で種を蒔いた。現在は3本の木が育っており、令和7年には数輪の花が咲いた。

#### (4) サマーフェスタ(P.T.A主催)

特認校となった翌年に「24時間の集い」という名称で、地元と特認の交流を深めるため、1日日程のPTA親子行事が行われた。以後、平成14年から「12時間の集い」、平成19年から「6時間の集い」に短縮され、コロナ禍で中断していたが、2年前に復活した。

現在は、7月中旬に午前中の3～4時間日程で実施されている。保護者中心に体育館で縁日を企画する内容で、子どもたちも浴衣を着てくるなど楽しみにしている行事であり、卒業生も訪れる。今年度は地元在住の大道芸人を招き、ジャグリングなど披露してくれ、子どもも大人も楽しんでいた。



#### 4 おわりに

地域の学校存続への想いが、特認校制度の活用と教育活動や環境整備への手厚い支援につながってきた。その事が、本校の特色ある教育活動のベースとなり、少人数の環境を含めて本校の魅力となっている。今後も「旭川第五小学校で学びたい子を受け入れる」ための環境づくりに地域と連携して取り組み、特認校としての魅力作りに努めていきたい。